

2016-B

Ⅲ 33-B

拠出金・基金
の名称

国際貿易センター拠出金

種 別

☐ イヤマークのみ ☒ 一部イヤマーク

【拠出先の国際機関名】国際貿易センター(ITC)

【所管官庁担当局課・室名】外務省経済局国際貿易課

【当該任意拠出金の目的・用途等】

WTO・UNCTADの下に設立された国際貿易センター(ITC)による「貿易のための援助(AfT)」の実施のための拠出金。同拠出金の中でイヤマークを行っている「Ethical Fashion」プロジェクトは、ガーナ、ケニア及びブルキナファソをはじめとしたアフリカの貧困地域における小規模職人とFENDI、Vivian Westwood等の大手有名ブランドをつなぎ、作製された服飾品(エシカルファッション)を欧州地域等のファッション・マーケットに紹介・販売促進することで、途上国の貧困の削減に貢献している。我が国においても、2014年からユナイテッド・アローズと提携して展開し、新宿伊勢丹においても、期間限定の催場においてアクセサリーの販売を展開する等、着実に販路を拡大している。

【最近3年間の我が国支払額及びODA率】

単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成28年度	100,889	12,106.7		1米ドル=120円	100%
平成27年度	5,357	48.7		1米ドル=110円	100%
平成26年度	5,392	55.6		1米ドル= 97円	100%

【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】

我が国は、持続可能な開発のための2030アジェンダ(SDGs)において、その拡大が目標の1つとされている「貿易のための援助(AfT)」の実施に特化した唯一の援助実施機関としてのITCの活動を評価。特に、アフリカを中心とした民間企業育成支援、人的資源開発、輸出促進機関との連携等、民間ビジネスの支援を通じて、貿易拡大・経済発展につながる活動で成果を上げており、我が国の開発関連政策とも方向性が合致している。

我が国がイヤマークを続ける「Ethical Fashion」プロジェクトは、ITCの主要な成功案件の一つであり、メディアにも頻繁に登場。フィナンシャル・タイムズ、タイム、ルモンド、ロサンゼルス・タイムズ、読売等の新聞やVOGUE、COSMOPOLITAN、ELLE、MARIECLAIRE等の雑誌でも数多く紹介されており、途上国、国際機関の評価は高く、我が国にとって効果的にプレゼンスを示すことができる案件である。

また、日本で実際に販売を行うユナイテッド・アローズでは、プロジェクトの趣旨に共感しているだけでなく、製品の質も評価している。同プロジェクトでのスローガンである「Not Charity, Just Work」のとおり、同プロジェクトは被援助者の自立を促すプロジェクトであると評価できる。

【備考】